

2022 年度 第 3 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2022 年 12 月 13 日（火） 13:30～17:00
2. 場所 304 会議室＋オンライン開催（Zoom）
3. 出席者 五十嵐規矩夫，岡崎太一郎，聲高裕治，石田交広，石原直，井戸田秀樹，
（敬称略） 岩田善裕，宇佐美徹，尾崎文宣，越智健之，小野潤一郎，兼光知己，吉敷祥一，
木村祥裕，桑原進，澤泉紳一，澤本佳和，竹内徹，田中剛，津田惠吾，
原田幸博，見波進，安田聡，山田哲，山田丈富，村上行夫（記録）
下線：欠席者
4. 資料（ストレージサーバ）
 - 03-01 議事予定（五十嵐主査）
 - 03-02 2022 年度第 2 回鋼構造運営委員会議事録案（村上幹事）
 - 03-03 構造本委員会関係（五十嵐主査）
 - 03-03-01 22 年度廃止申請・23 年度設置申請・23 年度活動計画一覧（五十嵐主査）
 - 03-04 座屈小委員会資料（木村委員）
 - 03-05 接合小委員会資料（桑原委員）
 - 03-06 素材小委員会資料（見波委員）
 - 03-07 次世代設計規準検討小委員会資料（欠番）
 - 03-08 各種合成構造指針改定小委員会資料（吉敷委員）
 - 03-09 環境小委員会資料（岡崎委員）
 - 03-10 塑性設計小委員会資料（聲高委員）
 - 03-11-01 軽鋼構造設計施工指針原稿（竹内委員）
 - 03-11-02 査読意見回答 尾崎委員（竹内委員）
 - 03-11-03 査読意見回答 石田委員（竹内委員）
 - 03-12 耐火設計小委員会資料（尾崎委員）
 - 03-13 鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会資料（越智委員）
 - 03-14 鋼構造限界状態設計指針改定検討 WG（井戸田委員）
 - 03-15 災害委員会等関連委員会資料（欠番）
 - 03-16-01 学会図書の質疑に対する回答状況一覧（聲高幹事）
 - 03-16-02 FAQ について（聲高幹事）
 - 03-17 今年度（2022 年度）大会若手優秀発表賞（岡崎幹事）
 - 03-18 今年度（2022 年度）大会 PD 資料の無償公開について（五十嵐主査）
 - 03-19 2023 年度大会 PD 塑性設計小委員会（聲高委員）
 - 03-20 重点審議開催履歴（五十嵐主査）
 - 03-20-01 重点審議：鋼構造限界状態設計指針改定検討 WG（井戸田委員）
 - 03-20-02 鋼構造限界状態設計指針改定検討 WG 議事録（井戸田委員）
 - 03-20-03 性能設計ガイドライン（井戸田委員）

03-21 構造本委員会からの依頼事項（五十嵐主査）

5. 議事内容

(1) 運営委員会委員について

- ・ 新任の安田委員よりご挨拶があった。

(2) 前回議事録の確認（資料 03-02 村上幹事）

- ・ 2022 年度第 2 回の議事録案を確認した。
- ・ 特に指摘等なく，承認された。

(3) 構造本委員会の動き（資料 03-03 五十嵐主査）

- ・ 11/28 に構造本委員会が開催された。
- ・ 次期（2023～2024 年度）構造委員会委員長選挙結果は五十田先生に決定した。
- ・ 2021～2022 年度調査研究関係委員会活動報告会用提出資料に関して，鋼構造関連は五十嵐主査にて作成予定。年明けにメール審議を流すので対応頂きたい。
- ・ 2022 年度大会研究集会資料（鋼構造 PD 「新しい軽鋼構造の可能性と設計法を探る」）は 1 年後に公開することになった。
- ・ 2023 年度大会の鋼構造 PD は 1 日目午前オンライン配信と決定した（後日オンデマンド配信も検討中）。
- ・ 次回は 3/13 開催予定。

(4) 小委員会・WG 等の報告

- ・ 資料 03-04～03-15 に基づき，各小委員会・WG 等の担当委員から活動報告があった。

座屈小委員会（資料 03-04 木村委員）

- ・ 10/21 に小委員会を開催。
- ・ 11/30 に「座屈に関する諸問題 2022」に関する講習会を開催した。120 名の参加があった（完全オンライン）。
- ・ SSRC との連携について内容詳細を検討中。来年度から座屈指針改定に取り組む予定。
- ・ 来年度に主査交代予定。

接合小委員会（資料 03-05 桑原委員）

- ・ 9/17，12/3 に小委員会を開催。
- ・ 溶接接合設計施工ガイドブックの改定作業中。（刊行予定 2025 年末）
- ・ ガイドブック発刊時にデジタルコンテンツも合わせて出せるかを検討する。

素材小委員会（資料 03-06 代理：五十嵐主査）

- ・ 小委員会開催なし。
- ・ 報告事項は特になし。前回運営委員会も特に報告事項がなかったため，五十嵐主査の方で進捗を確認することとなった。

次世代設計規準検討小委員会（資料 03-07 山田委員）

- ・ 小委員会の開催はなし。

- ・ 時刻歴耐震設計検討WGが立ち上がり、議論が開始されている。

各種合成構造設計指針改定小委員会（資料 03-08 吉敷委員）

- ・ 10/21 に小委員会を開催。
- ・ 改定原稿に関する構造本委員会の査読対応が完了し、12 月末までに各編を再度チェック、1 月に脱稿を目指す。
- ・ 各種合成構造と鋼・コンクリート合成構造とのすみ分けは、指針改定後に引き続き議論していきたいと考えている。

環境小委員会（資料 03-09 岡崎委員）

- ・ 10/18 に小委員会を開催。
- ・ 投稿した英語論文（*Journal of Structural Engineering*）が採択され、印刷済み。
- ・ 指針改定方針に関して引き続き議論中。章毎の議論の概要について紹介があった。
- ・ 小委員会は一度廃止して来年度新規に立ち上げる。

塑性設計小委員会（資料 03-10 聲高委員）

- ・ 8/31, 11/22 に小委員会を開催。
- ・ 指針改定（第 4 版）内容および来年度大会 PD に関して議論中。章毎の議論の概要について紹介があった。
- ・ 来年度に主査を交代する。

軽鋼構造設計施工指針改定小委員会（資料 03-11-01～03 竹内委員）

- ・ 今年度大会 PD に関して、多くの参加があり無事終了した。頂いた意見は指針改定に取り入れている。
- ・ 改定原稿案に関して、運営委員会（石田委員、尾崎委員）の査読対応が完了した。石田委員より査読意見の紹介があった。今後、構造本委員会の査読へ進む。
- ・ 主査を 1 年延長（期限付き）し、査読に対応する予定。

耐火設計小委員会（資料 03-12 尾崎委員）

- ・ 11/21 に小委員会を開催。
- ・ 2 月に予定しているシンポジウムの発表内容に関して議論を行っている。
- ・ 今年度で小委員会設置期間が終了するので廃止申請を行い、来年度新たに小委員会を設置する。合わせて来年度に主査も交代の予定。

鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会（資料 03-13 越智委員）

- ・ 10/17, 19 に小委員会を開催。
- ・ 指針改定原稿について引き続き議論中。小委員会内の査読は来年 8 月くらい。25 年刊行目標。
- ・ 次回（3 月）の運営委員会で運営委員会の査読者について議論を行うこととする。

鋼構造限界状態設計指針改定検討WG（資料 03-14 井戸田委員）

- ・ 重点審議でまとめて報告。

災害委員会等（資料なし 井戸田委員）

- ・ 特に報告事項なし。

(5) 学会図書質疑回答の報告（資料 03-16-01, 02 聲高幹事）

- ・ 聲高幹事より質疑回答の状況報告があった。

- 各種合成構造に関する質疑で回答保留中のものが2つ（資料中には1つ掲載）あったと思うので確認願いたい。（吉敷委員）
 - ⇒ 確認のうえ連絡する（聲高幹事）。
 - ・ 質疑回答のHP公開に関して議論があった。
 - 是非あった方がいいと思う。指針毎（小委員会毎）にFAQをまとめるのがいいのでは。
 - HP公開に関して特に異論がないので検討を進める（主査・幹事+α）。並行して各小委員会主査へFAQファイルの作成を依頼する（聲高幹事）。
- (6) 2022年度大会若手優秀発表賞について（資料03-17 岡崎幹事）
- ・ 本年度は受賞者13名で、HPに公開済み。
- (7) 2022年度大会PD資料について（資料03-18 五十嵐主査）
- ・ PD資料については1年後に無償公開とする旨、アンケートに回答した。
- (8) 2023年度大会PDについて（資料03-19 聲高委員）
- ・ PDのプログラムについて紹介があった。⇒運営委員会承認
 - ・ 1日目の午前にオンライン配信の予定。
- (9) 構造本委員会からの依頼について（資料03-21 五十嵐主査）
- ・ 2023年度大会の研究協議会に関して、鉄骨造の担当として運営委員会から中島先生、緑川先生、小野先生を推薦することとなった。
 - ・ 構造本委員会活動（21～22年度）報告資料に関して、鋼構造運営委員会については五十嵐主査、鋼構造限界状態設計指針改定WGについては井戸田委員、各種合成構造設計指針改定小委員会については吉敷委員にて、それぞれ資料作成を行う。
- (10) その他（五十嵐主査）
- ・ 運営委員会傘下の小委員会・WGについて、廃止および設置の申請（資料03-03-01）に関してはすべて承認。
 - ・ 運営委員会委員に関して、今年度末で津田委員が退任。後任は選考中。
 - ・ 2023, 24年度の運営委員会主査選挙の開票結果が報告された。2023, 24年度は引き続き五十嵐主査をお願いすることとなった。
- (11) 重点審議：鋼構造限界状態設計指針改定WG（資料03-20-01～03 井戸田委員）
- ・ 資料03-20-01～03に基づき、井戸田委員より限界状態設計指針の改定方針・内容に関して紹介があった。
 - 建築基準法（長期、短期、保有水平耐力計算）との対応（読替え）は？
 - 限界状態指針では詳しく書かれないと思うが、今後、許容応力度設計規準や塑性設計指針の方で荷重耐力係数の形が書かれると思うので、その荷重係数や耐力係数の設定で対応していけるよう、各指針の役割分担を考えている。

- 応答変形の評価（仕上げ材の評価等）は？
 - 塑性設計指針は変形を陽な形で評価できる指針として今後発展していく予定なので、仕上げや設備に対する評価もその中で位置付けられると考えている。ただし、時間はかかると思う。
- 終局限界とは耐力の限界なのか変形の限界なのか？
 - 今のところは変形限界を考えているが、今後議論が必要だとも思っている。
- 終局耐力と塑性耐力は何が違うのか？ 用語の整理が必要では？
 - 用語の整理はこれから行っていく。
- この規準を作ると 10 年位は大きな改訂は不要なものか？
 - 他の指針類との整合性をはかる必要が出てきた場合などは改訂を行う必要があると思う。
- 部分的に他の指針へ移管する（したい）項目があったが、他の指針への取りこぼしが無いようにお願いしたい。
 - 取りこぼしが出ないように慎重に検討していきたい。
- 土木学会と規準類情報の交換会の話があるが、構造本委員会ではどのような情報になっているか？
 - 組織間通しではまだ規準体系の話は出来ていないが、設計法の形など参考に出来るところはあると思うので、議論はしていきたいと思っている。

(12) 次回重点審議について（資料 03-20 五十嵐主査）

- ・ 次回は耐火小委員会か素材小委員会に五十嵐主査より打診してみる。

6. その他

次回重点審議 未定

次回運営委員会 3/22（水） 13：30～17：00

以上